

## 令和7年度ひみ未来づくりミーティング議事録（東地区）

日時 2025/9/19 19:00～  
 場所 氷見市芸術文化館  
 出席者 26名  
 市長、政策統括監、総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、  
 教育次長、防災・危機管理監、消防管理監、地域振興課、地域担当職員  
 進行 19:00～19:03 市長あいさつ  
 19:03～19:05 出席者紹介  
 19:05～19:38 市政の概要について（市長説明）  
 19:38～20:32 意見交換  
 20:32～20:36 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	<p><b>■こどもの遊具について</b>            富山っ子さんさん広場事業を活用して、子どもの居場所づくり、預かりをしており、旧若葉保育園の園庭で遊ばせてもらっている。そこにあったブランコが撤去になった。子どもたちは、ブランコが無くても自由に遊んでいる。新設は予算的に難しいとか、こんなことならできるとか、話し合いがなかったことが残念だった。            今後は、何かできることはないかというように、対話できると嬉しい。</p>	<p><b>■市民部長</b>            旧若葉保育園には、鉄棒と滑り台がある。また、児童遊園や街区公園など、以前に市が設置した遊具がたくさんある。管理点検を行い、危険なものについては、解体、撤去して、遊具の新設は行っていない。その一方で、遊具の集約化ということで、朝日山公園の見晴らしの丘に大型遊具を設置し、子どもたちに遊んでいただけるようになっている。道具がなくても遊べるようなサポートをお願いしたい。            今後は、しっかりとコミュニケーションを取らせていただく。</p>
2	<p><b>■震災復興について</b>            日々公費解体が進んで更地が増えて、心を痛めている。公費解体の跡地をどうしていくのか、市としてのビジョン、全体のビジョンがあるのか。            中央町ではそういう話し合いをしているが、まずは地域の皆さんで話し合っ、一緒に考えていきましょうということだが、転出が多く、話し合いができないところは、市としてどうしていくのか。</p>	<p><b>■政策統括監</b>            全体のビジョンがないかということですが、現在、中央町の防災街区や新道、姿地区では大学の教授に入っただいて、地域でまず考えていただくような取組みを行っている。北大町については、現在の状況の状況を踏まえて今後検討していくので、まず地域の意見をお聞きしたいと考えている。            それを受けて、建築の専門家、住宅生活再建の専門家の方に入っただく、復興まちづくり会議があるので、地域の意見を踏まえて、全体的に市の考え方とどう整合させていくかということを考えている。            空き地については、基本的に人口が10%以上減少している地区を中心に考えている。その他、まちづくりに対して潜在的に将来の可能性があるような空き地があれば個々に検討していきたい。</p>
3	<p><b>■氷見まちづくり協議会について</b>            商店街連盟の関係で氷見まちづくり協議会の資料を見る機会があり、約4,000万円の事業が行われていて、1つはビジネスサポートセンター、もう一つはエリアマネジメント事業である。ビジネスサポートセンターは、中小企業の売り上げアップをKPIとしており、75%以上の方の売り上げアップを目標としているが5年続けて達成されていない状況である。また、エリアマネジメント事業についても予定どおりされていなかったり、ホームページも更新されていない。            もっと震災復興に使ってほしい。商店街振興であれば商店街が悩んでいるアーケードなど、もっと違う使い方をした方がよいのではないかと意見が商店街内部から出ているので、今後この事業を続けるのか、変えていくのか。</p>	<p><b>■産業振興部長</b>            氷見まちづくり協議会との関係でビジネスサポートセンターについて相談件数とかを見て、実績があると考えているが、KPIについては、本当に適正なのか改めて検討したい。エリアマネジメント事業も今年度も行っているがホームページが更新されていないのは問題があると思っている。氷見まちづくり協議会の会議の中で強く言っていただければ、ありがたいと思う。            アーケードについては、朝日丘の方でも同じような話があり、アーケードの改修については補助制度があるが、単に撤去となると、現状、補助制度がないので、問題意識を持っており、検討していきたいと思っている。</p> <p><b>■市長</b>            効果の出ないものについては、見直しを行い、使うべきところに使うという視点で、大切な予算を使っていきたい。</p>

4	<p>■災害公営住宅について 災害公営住宅が出来上がるということで、大変喜んで入居の基準は原則抽選というふうになると思うが、せっかくその地域に近いところになるので、コミュニティも少し考慮された基準にできないものかお願いしたい。</p>	<p>■建設部長 現在、3棟目の設計を行っており、3棟合わせて間取りをお見せして1番良いところを希望していただきたい。ご希望が多ければ抽選になるが、できるだけご希望に沿いたいと考えている。</p>
5	<p>■縁結びについて 縁結び、おせっかいさんの活躍、大変期待しており、よくやっていただいていると思う。 その中で、登録されている親御さんたちは、多分、切実だと思つるので、そこも少し検討していただけたらと思う。</p>	<p>■企画政策部長 市全体としては女性が多いが、15歳から39歳の女性が男性よりも40人少なく、バランスが崩れていることが1つあり、氷見市の課題と思っている。氷見に戻ってきた後に、どう縁を結ぶかということで、おせっかいさんに活躍いただいて相談会を行ったり、以前は、親御さんの相談会も開催させていただいた。最近の流れとしては、結婚のきっかけとして、マッチングアプリが大体3割、4割となっており、多様なやり方でどう縁を結ぶことができるかが大切かなと思っている。いろいろなチャンネルを使いきっかけを作り、そのご縁が続き、最後は結婚に至るまで、フォローできるかが大切で、皆様方のご協力を得ながらやっていきたい。</p>
6	<p>■子どもの数について 理想の子どもの数と実際の子どもの数にはギャップがある。お金の面なのかなと思う。大学などの高等教育が富山県は優れているので、そこへの投資があり、なかなか踏み込めないのではと思うが、保育料無料とかしていただいているが、何か、呼び水みたいなものがあればと考えている。</p>	<p>■市長 子育て支援が進んでいると言われていますが、全体的な子育てに対する安心感が必要だと思っている。医療や母親のコミュニティなど、いろいろな面から安心感を感じていただけるようにしていきたい。</p>
7	<p>■城端線・氷見線の再構築と金沢の直通バスについて 城端線・氷見線の再構築ということで、素晴らしい計画が立っているが、今、氷見と金沢の直通バスがある。整合性はどうか。 金沢までパッと安く行けると、わざわざ氷見線を利用してあいの風鉄道を利用しなくても良い形なんですけど、城端線・氷見線の再構築と直通バスについて、多分同じ部署で考えられていると思うが、どうしてそういう発想が出たのか教えていただきたい。</p>	<p>■企画政策部長 県、そして沿線4市そしてJR、あいの風鉄道と連携して、再構築事業を進めているところである。4年後には新型車両が走って、増便というガラッと今までと違う形に持っていこうとしている。 その後は城端線・氷見線直通化というところで、それがあと4年と5年ですから9年を目途にということである。 そこでインバウンドとか、いろんな方々に来てもらうためには、ICカードやクレジットカードも含めた利便性など、円滑にということが大事であると思う。 金沢のバスの話もありましたけれども、いろんなニーズに応えながらも、最終的にその利便性とかを高め、いろいろやっていく中で、もし利用が少ないのであれば、それをどれかに特化してやっていくところが大切かなと思っている。 特に能登の方が今、観光需要がない、ないというか和倉温泉がああいう状態なので、金沢とうまく繋いでいこうというのが復興までの間の一つの観光の考え方だというふうに思っている。 それぞれのニーズに応じた形で交通を確保しながら、誘客、そしてこの再構築については通勤通学も含めて、利便性を向上させながら、日々の活性化に繋げていきたいと思っている。</p>
8	<p>■街の賑わいについて 信用金庫や富山銀行が移転して、市役所も移転して、街を通らなくなったりして、街の賑わいもなくなったことは確かです。けれど、新たに素敵なことになっていて、どこからか氷見を知って来られて、どこから来られたか聞くと台湾や中国という。また、東京や大阪の方などがたくさん来られて、大変喜んでソフトクリームを食べていかれる。また、街の中には、モニュメントがあり、からくり時計でみんなが構えて待っている。それもいい。 建物が壊され、街並みが変わって、寂しくなるので、子どもも少なくなったけど、3時間ほど楽しめる忍者屋敷とかあれば、親子で楽しめるのではないかな。</p>	<p>■産業振興部長 積極的にお声がけいただいて、コミュニケーションが取れて面白かったというお話をたくさん聞かせていただいており、大変感謝している。これからも、こういったコミュニケーションを大切にしていきたいと思つう。</p>

9	<p>■ひみまつりの街流しについて ひみまつりの街流しも活性化の一つであり、街ですから街流しなんです。比美乃江公園ですれば、危険もないし、一気に終わる感じですが、街の活性化のためにも、街流しだけでも街でしてくれれば心が華やぐと思う。また、みんなの心に活気が戻るのではないかと思う。無理な要望かもしれませんが、生きている間に1回でもお願いしたい。</p>	<p>■産業振興部長 ひみまつりの街流しですが、今年とかも踊り手がかなり少なく、30分の持ち時間が15分で終わってしまうという状況であり、青年会議所の方と話してみたいと思う。</p>
10	<p>■空き地の有効活用について 常盤貴子さんが来られて花壇作りをされました。非常に暗いことばかりやったんですけども明るいニュースになりまして、非常に元気が出ました。これからもこういった更地のところを草ぼうぼうになってるんじゃなしに、これを資源として、ピンチをチャンスに変えてですね、青写真を作ってここを盛り上げるようにしてほしい。 ボランティアの人が水をやったりしております。聞くと多少負担になっているということも言っておられました。ぜひともボランティアの人を育てていただきたいと思う。そして、こういった更地を有効活用するようにもっともっと花壇に限らないで、いろんな使い道を市役所の職員の方々の英知を絞って、これからも取り組んでいただきたい。</p>	<p>■政策統括監 空き地の有効活用ということですけど、まず、姿地区では富山大学の学生が入って、いろんな提案をしてくれている。中央町では東京科学大の教授が来られて、学生も一緒になって考えている。 加納町池田町については今からなので、こういったことをやりたいとか、まずは地域の方でまず地域のコミュニティが大事なんで、まずそこで住民の皆さんで考えていただいて、離れた方がどうしたら戻ってこられるのかということも考えていただきたい。 その後、我々も寄り添ってサポートしていく。</p>
11	<p>■からくり時計について からくり時計なんですけども非常に故障がちになっており、既に顔を出さなくなったキャラクターもいっぱいある。何とか動いている。 この対案を持っているのかどうか、検討始めているのかどうかお聞きしたい。壊れて止まってから、やっと考えるのではなく、もう考えないと、次はどういったものをするのかとか、かなり時間がかかると思う。 ぜひとも、前に前に先に先に検討を進めていただきたい。</p>	<p>■建設部長 からくり時計の件につきましては、おっしゃるとおりであり、検討してまいりたい。</p>
12	<p>■氷見駅前の駐車場について 大切な氷見線である。廃線になってからジタバタしていても、もうとき既に遅しである。 氷見線で一番不足している施設は何だと思えますか。以前トイレが非常に汚かったですね。何十年もトイレができなかった時代があったが、今は綺麗なトイレになった。観光客の人もわざわざそこでトイレをして街回りをしているような状況である。 無料の駐車場が不足している。駐車場が自由に使えれば、車で来て、そこに車置いて、電車に乗ってどこかへ出かけるという、そういった人を増やさないことには氷見線が廃線になる危機から逃れられない。 そこで、駅周辺に土地がないかという、探せばあるので、検討願いたい。</p>	<p>■建設部長 パークアンドライドの観点、観光の観点もあるので、検討していて、その検討をできるだけ進めてまいりたい。  ■市長 4年後に向けて駐車場も含めて駅周辺のハード整備を行ってまいりたい。</p>
13	<p>■給食費について 氷見市は、子育て支援が抜群に良いと聞く。保育園、小学校にあがってからの支援が必要で、以前から給食費を無償してほしいと思っていた。現在2分の1を補助していただいているということでとても喜んでいる。いずれ全額になってくれればと思っている。</p>	<p>■教育次長 給食費の無償化については、国において先ず小学校を無償化し、その後中学校へ拡大するということが報道がされており、その動向を注視するとともに、早期の実施を国や県に対して要望を続けているところである。</p>
14	<p>■女性の登用について 避難所やいろいろなところで女性を登用してほしい。女性の課長や課長補佐が増えてきていると感じているが、この未来づくりミーティングで説明されているのは、男性ばかり。</p>	<p>■総務部長 氷見市における女性職員の管理職への登用ですが、3割程度だと思う。現状としまして係長クラスから相当増えている。将来的には、課長補佐になり課長、部長と上がっていくわけで、一生懸命やっているところである。</p>

15	<p>■災害公営住宅について 災害公営住宅に女性の視点や意見が入っているのか。すでに2棟の入札が終わっているので、3棟目には、女性の視点を入れたものにしてほしい。</p>	<p>■建設部長 災害公営住宅の1棟目、2棟目については、設計が終わっているが、担当者は女性であり、3棟目もその職員が担当している。</p>
16	<p>■外国語教育について インバウンドで外国人が入ってくる。学校で英語だけでなく、中国語や韓国語を集中的に学ぶことができれば、氷見が選ばれることにつながるのではないか。</p>	<p>■教育次長 外国語教育については、ALT(外国語助手)を導入してその充実を図るとともに、ふるさと教育のための英語版教材「We Love HIMI!」を使って、英語で氷見市の良さを知らせることができるようになるようにしている。今後も国際的な子供を育てていく取組を進めていきたい。</p>
17	<p>■潮止の橋の通行止めについて 前は歩行者だけは通ることができたが、今は、通れない。</p>	<p>■建設部長 復旧にどれくらいかかるのかについて、後日連絡する。</p> <p>(対応結果) 9月30日電話で回答 現在、機能診断中で結果が判明してから対策方法が決定するためまだ時間がかかる。 そもそも一般の方が通行できる施設でないこともご理解願いたい。</p>